

2回目の緊急事態宣言が延長されて3月7日までとなりました。普段からほとんど外食しないので、個人的には宣言前後でほとんど変わらない生活していますが、息子は部活動が制限されていて授業の方も短縮授業を強いられているので、早く解除されたらと思います。（表面担当：佐藤）



ISO定期審査

1月13日～15日にかけて、ISO9001、ISO14001の統合定期審査が行われました。

今回の審査において、改善指摘事項はありませんでした。改善の機会として10項目程度挙げて頂きましたので、今後各部署において改善していきたいと思えます。

また、グットポイントとして前回のSIMCO通信でお知らせした「はばたく中小企業小規模事業者300社」に選定されたことを挙げて頂きました。



環境整備大会&クリーンデー

1月30日と2月6日の2週続けて環境整備大会とクリーンデーを行いました。今回は、S-1Aグループの活動内容を報告したいと思います。

今回S-1Aグループでは、物量の関係で2月1日も環境整備に当て、都合3日間の作業となりました。

まず始めに水槽内に溜まったスケールを回収しました。かなり溜まっていた（写真上）が、今回頑張って水槽の底の使っていない配管が見えるところまで回収できました。（写真中）

他に油槽周りのペンキを塗って初日は終了しました。

2日目は、水槽の手摺と油槽周りのペンキ塗りの続きと初日に回収した分と前回回収したスケールを産廃業者に回収していただきました。スケールは倉庫に広げてあったので、カゴに入れ直してからトラックに積まなければならない、重労働でしたが、なんとか2回分全て回収していただきました。

3日目は、油槽、水槽周りの段差のペンキ塗りを行いました。10年ほどペンキを塗っていなかったもので、半日かけて汚れを取り除き、また半日かけて何度もペンキを重ね塗りして綺麗に塗り終わることができました。段差がある部分はオレンジ色で目立つので注意喚起につながると思えます。（写真下）



マスクはどう選びますか？

コロナ禍の現在、出勤などの外出時で手離す事のできないマスクですが、最近では素材や形状、色、柄物など種類も豊富になり、購入の際どれを選べばよいか迷う時があります。また、インターネットやテレビで素材ごとに飛沫を防ぐ性能に差があると紹介があり、さらに選択の幅が広がり、余計に迷うことになりました。今回は、すでにご存じの方も多いとは思いますがマスク選びの判断要素の一つとして、マスクの素材ごとの違いを簡単に紹介しようと思います。

不織布マスク
吸い込む飛沫量
→30%
吐き出す飛沫量
→20%



布マスク
吸い込む飛沫量
→55～65%
吐き出す飛沫量
→18～34%



ウレタンマスク
吸い込む飛沫量
→60～70%
吐き出す飛沫量
→50%



フェイスシールド
吸い込む飛沫量
→小さい飛沫に効果なし
吐き出す飛沫量
→80%



理化学研究所のスーパーコンピューターによるシミュレーションの結果、左の図のような結果が得られましたが不織布はそれ自体にも性能差があるため性能重視でマスクを選ぶ際には息が吸いにくい＝性能がいいと覚えておくと良いとありました。また通気性が良く、性能も比較的良いものとしては布マスクがあげられました。

これからは花粉も飛び始め、コロナだけでなく花粉症の症状にも悩まされる人が増えると思いますので、自分に合うマスクを選び少しでも快適に乗り切りましょう。

(引用 : https://www.huffingtonpost.jp/entry/story_jp_5fd6c3bec5b62f31c1fe4eb7)



チョコレートの季節です



2月14日はバレンタインデーです。SIMCO通信発行時には既に過ぎているとは思いますが今年はコロナの影響もあり店頭だけでなく通販、取り寄せなどでもたくさんのチョコレートが紹介されています。

我が家では毎年父に渡す用のチョコレートを作っていました、今年は材料を買いに行く余裕もないため市販のチョコレートになりそうです。

見た目もとても華やかなチョコレートが数多く並んでおり、思わず母と共に自分用のチョコレートもこっそり確保してしまいました。

昔から「疲れた時には甘いもの」とよく聞きます。今なら店頭に行かずともチョコレートを手に入れやすくなっていますので、普段買わないようなお高めのお菓子で一休みはいかがでしょう？

編集後記

裏面担当の大橋と申します。

緊急事態宣言後、コロナ感染者は少しずつ減っていますが千葉県では、まだ1日の感染者数が100人近いこともあり、今回のSIMCO通信の記事を決めました。

私は自宅通いで祖母と同じ家に住んでいるため、家族一丸となって予防に努めています。

同じことの繰り返しとなりますが、自分や家族の安全を守るためにも

出勤や外出時の予防の徹底、帰宅後の消毒等続けましょう。